

# 吹付けコンクリート用 液体粉じん低減剤 クリアップ L

## はじめに

クリアップ L は、吹付けコンクリートの発生粉じん量の低減と施工性改善を目的に開発された液体の添加剤です。

クリアップ L をベースコンクリートに添加することにより、一般吹付け用粉体急結剤デンカナトミック TYPE-5や高強度吹付け用粉体急結剤デンカナトミック TYPE-10 (デンカ社製) を用いた吹付けコンクリートの発生粉じん量を低減するとともに、施工性を改善することができます。

## クリアップ Lの特長

- 単位水量を低減するとともに、スランプロスを低減できます。
- コンクリートに過大な粘性を与えることなく、材料分離抵抗性を付与することができます。
- 吹付けコンクリートのポンパビリティーを改善できます。
- 骨材の品質により良好なフレッシュ性状が得にくい場合の施工性改善にも寄与します。
- 分離低減効果を付与することにより、コンクリート吹き付け時の発生粉じん量を低減できます。

主成分および性状				
主成分	密度 (g/cm <sup>3</sup> , 20°C)	外観	塩化物イオン量 (%)	全アルカリ量 (%)
特殊増粘剤と ポリカルボン酸系化合物	1.015 - 1.045	褐色液状	0.0	0.0

※ 塩化物イオン量と全アルカリ量は分析結果例です。

## 使用方法

- クリアップ L の使用量は、セメントに対して 0.5% (有効成分として 0.1%) です。これ以外の使用量の場合は、弊社までお問い合わせください。なお、使用量は、使用材料、配合、練混ぜ方法、温度などの諸条件により異なる場合がありますので、目標とするコンクリートが得られるように試験練りで確認してください。
- クリアップ L は、吹付けコンクリート用高性能減水剤 FTN-30 シリーズと併用することで、さらなる減水効果が得られます。FTN-30 シリーズとのプレミックスでご使用の場合は、弊社までお問い合わせください。

## 使用上の注意事項

- 雨水や異物が入らないように、また、凍結しないように保管してください。もし、凍結した場合には、徐々に温め、融解・攪拌後ご使用ください。
- 取扱いに際しては、ゴム手袋や保護メガネなどの保護具を着用してください。
- 皮膚に付いた場合には、速やかに上水道水で十分洗い流してください。眼に入った場合は、眼をこすらず直ぐに上水道水で十分洗眼した後、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合は直ぐに吐かせ、多量の飲料水を飲ませた後、さらに吐かせ、医師の診断を受けてください。
- 廃棄する場合は、産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
- 詳細な情報が必要な場合は、弊社の製品安全データシートをご参照ください。

## フレッシュ性状の試験結果例

【使用材料】 C: 普通ポルトランドセメント, S 砕砂, G 6号砕石

【試験配合】 C: 360kg/m<sup>3</sup>, W/C 63.3%, s/a 60.0%

【試験水準】 プレーン, 市販粉体粉じん低減剤: C×0.1%, クリアップ L: C×0.5%

【スランプ試験およびタッピング後の状況】



## 吹付け試験結果例

【使用材料】 C: 普通ポルトランドセメント, S 姫川水系砂, G 糸魚川市産 6号砕石, 急結剤 ナトミック TYPE-5

【試験配合】 C: 360kg/m<sup>3</sup>, W/C 61.0%, s/a 60.0%, 急結剤 C×7%

【試験水準】 市販粉体粉じん低減剤: C×0.1%, クリアップ L: C×0.5%

【吹付け条件】 実吐出量 10m<sup>3</sup>/h, コンクリート圧送エア量 20Nm<sup>3</sup>/min, 急結剤圧送エア量 4Nm<sup>3</sup>/min

【粉じん測定条件】 模擬トンネル (幅 5.2m, 高さ 4.4m, 延長 20m) 密閉, 粉じん測定機 LD-3K, 測定時間 1 分間隔, コンクリート吹付け量 約 1m<sup>3</sup>

【試験結果】

粉じん低減剤 種類	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )						粉じん量 (mg/m <sup>3</sup> )	
	ベース		吹付けブルアウト		吹付けコア		最大値	平均値
	7 日	28 日	3 時間	24 時間	7 日	28 日		
粉体市販品	24.8	30.5	1.7	9.2	24.8	29.5	26.8	20.4
クリアップ L	26.2	32.0	2.0	10.0	26.2	33.6	21.0	15.3

[gcpat.com](http://gcpat.com) | 商品に関する問い合わせ: [asia.enq@gcpat.com](mailto:asia.enq@gcpat.com)

## GCPケミカルズ株式会社

東京事務所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1 丁目 8 番 10 号 クリエイトビル 6 階 Tel: 03 (5226) 0231 Fax: 03 (3239) 2251  
技術部 〒243-0807 神奈川県厚木市金田 100 番地 Tel: 046 (225) 8877 Fax: 046 (221) 7214

弊社は、本情報がお役に立つことを願っております。本書に記載されている情報は正当および正確とみなされるデータおよび情報に基づいており、使用者の考察、調査、および検証に役立てていただくために提供するもので、弊社は結果が得られることを保証するものではありません。弊社が提供するすべての商品に適用される販売条件と合わせてすべての記載事項、推奨、または提案事項をよくお読みください。記載事項、推奨、または提案事項はいかなる特許、著作権、またはその他の第三者の権利を侵害するような使用を意図するものではありません。

GCP Applied Technologies Inc., 米国 02140 マサチューセッツ州ケンブリッジ ホワイトモア通り 62

© Copyright 2017 GCP Applied Technologies, Inc. All rights reserved. | Printed in Japan | 02/17 | 250-ClearUp-16



**gcp** applied technologies